

図版④ 上海図書館本

図版④ 家蔵本

「落ち穂拾い記」⑬

夫人程氏塔銘（下）



図版⑤ 上海図書館本

家蔵本

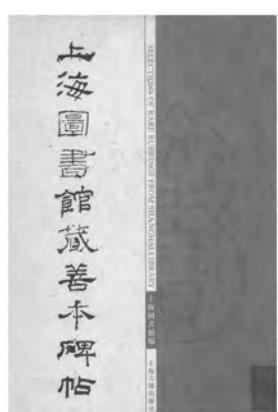
図版⑤ 上海図書館本

家蔵本



図版① 王靖憲先生

図版② 上海図書館蔵善本碑帖





家藏本



80年代の末頃から金石碑帖に関するところで、中国の方との僅かな交流も生まれた。5回目の記で取り上げた伊秉綬の金泥跋の『孔宙碑』を見ていただいた馬成名氏もその一人である。『増補校碑隨筆』を著されていた王壯弘氏の後輩にあたり、その頃すでに、王壯弘氏とともに『六朝墓誌檢要』を出させていた。当時、アメリカのクリスティー・オークションの書画部門に転職させていたようである。この『夫人程氏塔銘』も王壯弘氏の『崇善樓筆記』の「銘石久佚、海内僅有一二」を引用しながら、拓調が善く、書法が大変いいのですが、完全な翻刻拓本でしようねと述べながら提示した。馬さんは、開きながらどうしてここにあるのですかと聞かれた。数年前、北京の古書店で購入したと。彼は信じられないこと。原拓本であると。原石が早くに失われ、拓本がこの世に僅か數本しかないものだと。しかし、当時はいかに手を尽くしても、原石拓の写真資料を入手できなかつた。1991年の冬休みに北京に出かけた折に、以前から碑帖拓本に関することで交流をさせていただいている王靖憲(1928年生まれ、筆名は王靜。碑法帖研究、収蔵に優れる図版①)先生を訪ね、馬氏から原石拓とされた『夫人程氏塔銘』の原寸写真をお見せした。王先生は、書齋の本棚から、やや不鮮明な石印風の手作りの小さな薄い冊子を探し出され、全体を丁寧に比較され、翻刻ではないかと。当時翻刻、原刻も見たことがないので何も言えなかつた。持参した写真を一部贈呈して帰つた。帰国してすぐに、お手紙をいただいた。君が帰つた後更に子細に比較し、あの拓本は、疑いもなく原石拓本であり、かつ「最初拓本」であると。「最初拓本」の意味は、理解できなかつた。その意味が、確認できたのは、2005年の秋、「上海図書館藏善本碑帖展」が開催され、大型の図録『上海図書館藏善本碑帖』(図版②)を入手してからである。「大小碑塔銘」として有名な収蔵家・吳湖帆旧蔵の原石旧拓本がカラー精印された(図版③)。家藏本と比較して、最初は略同じであるが、後半の字画の状態は、明確に家藏本が優れている(図版④⑤、図版④は頁あたりの字数が異なるので上海図書館本を家藏本に合わせた)。北京の王靖憲先生は、他本よりも一段と優れていることを、「最初拓本」の語で示されたのである。今でも、この手紙は、『夫人程氏塔銘』とともに大切にしている。

伊藤滋(書齋名・木鶴室)

書道芸術院

令和の群像 (2021)



森 地 桂 鶴

36年前の初夏のある一日、私は長女を幼稚園に送り出した後、次女を背負い、締め切り間近な書作品を書いていた。外遊びをしたい幼い長男は、脇にあつたピアノの椅子からピヨンピヨン飛び降り遊んでいた。私が狂い私が制作中の作品の上に転げ落ちた。怪我はなく作品の汚れも免れた。第36回毎日書道展で、その作品が「毎日賞」を受賞した。恩師の故種谷扇舟先生によれば「金子鷗亭先生が、この作品こそ新生毎日展にふさわしい作品だ!」との批評をくださったとの事。大変感激した。私が今まで続けていられる書の原点がある。ある。

筆を持ち始めてから60数年が経過し、殆ど途切れる事なく書の道を歩んで来た。そ
れこそ、喜びも悲しみも共にであった。素材と表象という作家にとって「何を書くか」という命題の掘り下げ方。私は40年前より、生活の中での感動や遭遇した出来事を短歌として記していく、その歌は近代詩文書の題材として用いて表現している。専門分野として書く漢字作品は自ら作るには及ばず、中国の漢詩を取り入れ、古き中国の文化や生活を、絵画や映像から思い描きながら詩文の世界を思い起こす。情景まで表現したいと願うが、今は作風の意図とか線のテクニックとしてだけに捕われてしまう。今後の作品を書く課題として追求して行きたい。しかし容易に出来る事ではない。

種谷扇舟先生に40数年間古典の臨書を中心とした温かい中に厳しく自由な作品作りを教わった。元大雲先生の包容力のあるご指導をいたしました。今や世界中は新型コロナウイルスの影響を受け、児童までマスクをして人々の口元や表情がよく読み取れず、子供達や学生はオンライン授業の学生生活。体験学習が狭められ、人や自然との大いなるふれあい、または感性を養う場面から遠ざけられる。全ての人が社会の中で、ただ／＼萎縮してしまうような生活を送っている現状だ。冒頭で記した、その時でしか書けない書がある事。若い時は情熱的で迫力のある書を思いきり書ける。

我が家の子等は自らの生き方を歩んで行き、夫も天国へ旅立ちました。一人の広くなってしまった家の内で再び夢を目指して、「書は人なり」と言われるような書の境地と新しい中に格調ある書を求め、ひたすら前進して行きたい。



第73回書道芸術院展 「杜甫詩」

森地桂鶴書

のご指導を受けた。亡くなられた後は、辻元大雲先生の包容力のあるご指導をいたしました。

謹賀新年 辛丑の新春を寿ぐ

頌

春



2021令和3年の新しき年を迎えた。昨年はコロナウイルス蔓延に振り回され、年が改まつても未だ終息の気配も見えません。皆様方にはくれぐれもご自愛いただき、平穏無事な充実した一年でありますようお祈り申し上げます。

本年は昨年開催できなかつた2020東京オリンピック・パラリンピックの開催予定など、いたるところで昨年の積み残しを実行すべく、努力がなされております。毎日書道展や読完書法展をはじめとする書道団体展は、今年は何とか開催すべく関係者は頭を悩ませながら鋭意努力を重ねています。私達もできる限りの協力をし、書道界の充実と発展に向け努力していかなければと思ひます。

書道芸術院としては本年2月開催の第74回展を確実に成功させるべく努力中です。昨年12月の一般公募・無鑑査の鑑別審査は無事終了し、今月末の審査会員・同候補の特別選考、そして2月4日の陳列、5日から11日までの東京都美術館での展示に向け、総力を挙げて頑張ります。残念ながら表彰式・祝賀会など一連のイベントは全て中止せざるを得なくなりました。ご了解いただきたいと思います。

また昨年実施できなかつた岡山での単位認定講習会を8月に、10月には秋季展、オーストリア・ウィーン、スロバキアでの海外展も情勢は難しそうですが、現地大使館との協議を行いながら開催に向け準備だけは抜かりなくしていきたいと思つております。11月23日創立記念日の講演会など諸事業を着実に実施して参りました。

皆様方のご協力、ご支援を切にお願いし、新年のごあいさつといいたします。

公益財団法人書道芸術院理事長

辻元大雲
役員一同

書のひろば

理事長 辻 元 大 雲

辛丑の歳の「多幸をお祈りします。明けましておめでとう」ございます。

昨年は正に激動の一年であった。2月下旬から本格的に影響の出始めた「新型コロナウイルス」の蔓延の影響で日本はもとより、全世界へと拡散しパンデミックとなつた。第1波から現在は第3波と繰り返し、終息の兆しも見えない。

本院では第73回展はさしたる影響もなく開催出来、帝国ホテルでの表彰式、祝賀会も例年通り盛大に行えたのは、正に僥倖であった。

第74回展は次項にて触れるが、何とか開催すべく鋭意努力中である。会員諸氏のご協力、ご理解が頂ければこそである。昨年は4月以降の院諸行事は全を取り止めとなつた。本年こそは本展はもとより、岡山で予定している単位認定講習会、秋季展、講演会や定例の理事会など無事遂行できることを切に願っている。ご支援を。

第74回書道芸術院展 無鑑査

一般公募 鑑別審査無事終了

12月12・13日、浅草橋共和会館にて、

第74回展の無鑑査および一般公募の鑑



審査会風景

別審査が行われた。前号で速報した通り心配された出品減は微減（無鑑査57点減、一般公募16点減）で済み、主催者としてほつと胸をなでおろした状態であった。

しかし、審査を担当していただく当番審査員、審査事務委員の方で特に地

方の方はやむなく欠席の方が多数おられ、当番審査員の補充はできない原則があり、一部欠員のまま審査を行つた。

審査事務委員については東京・千葉など近隣の審査員に急速ご依頼して、審査遂行に支障のないように配慮した。

皆様のご協力に深く感謝申し上げたい。

また、審査会場については普段の2フロアから4フロアに増やして、密状態になるのを避け、さらにマスクの着用のほかフェイスシールドを全員に配布して感染防止に努めた。ただフェイシールドは使いにくさもあって、半数位の着用率であった。

今後は1月15日の審候以上の書類搬入、1月27日作品搬入、28・29日の特別賞選考へと進み、2月4日陳列、2月5日～11日の展覧会開催へと展開することになっている。皆さまのご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げたい。

なお、すでにお知らせした通り、会期中のイベント（表彰式・祝賀会・作品解説会・学生展ワーキングショップなど）は全て中止とさせていただく。ご理解ござい承下さるようお願い申し上げたい。

一般財団法人毎日書道会 令和2年度第3回理事会開催

12月10日、定例理事会が、令和3年度予算案、事業計画などを議題に開催された。

・主な議題

(1) 第72回毎日書道展開催

昨年開催中止、順延となつている第72回展を、組織などはほぼその

ままで開催する。当番審査員、審

審査は各部とも初日で終了し、事務処理に漢字部・現代詩文書部が翌日午前中までかかつたが、ほぼ順調に無理なく進行した。入賞数は昨年と同じ率を適用し、広く多様な表現に配慮しながら、バランスよく行っていただいた。

（前回までは5月に会友は書類のみ）、5月鑑別時に会友の入賞候補選出審査を行う。入賞審査はA入選作品、会友入賞候補作品を合わせ、6月25～27日に行う。

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

・査事務委員などは原則そのままの体制で行う。
・主な変更点

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり」で、会友は額装で6月21・22日に搬入する。出品票などは5月12日に搬入する。

④ 刻字作品は従来通り、書類は5月12日、作品は6月21・22日に搬入する。

⑤ 第30回国際高校生選抜書展開催の件

（3）第30回国際高校生選抜書展開催の件

（4）その他

・令和3年度収支予算案

・第72回毎日書道展主要役員人事

原則として変更なし。

・第72回展での資格昇格承認

・名譽会員 参与会員 貞原司研氏

（1）第72回毎日書道展開催
参与会員 水川舟芳氏
名譽会員 植原萌春氏

・その他

① 漢字、近代詩文書は5月10日、11日の搬入時に公募（J23含む）作品と共に会友作品も同時に搬入する。

② かな、大字、前衛の会友作品は5月21日までに表装店に送る。今回

かなの入賞審査は1週間前倒して6月18・19日に行われる。

③ 篆刻作品は、公募と会友公募は「まくり

かな基礎基本講座(8)

下谷洋子

連綿(4)

* 変体がなを使っての変化 その二 多字数連綿

同じような字形・字幅・方向が続く時にも変体がなを活用して
変化を出す

☆あめの

あめの あめの うめの

免 阿 農

あきのたの あきのたの あきのたの

支 登 利

☆三字連綿例

久 可 王 連 支 登 利
可 盤 具 連 多 能

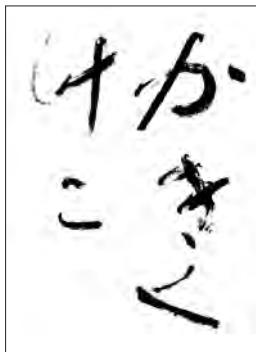
☆四・五字連綿例

多 久 あきのたの あきのたの あきのたの
佐 三 多 連 免 阿 農

万 徒 可

阿 末 可

①



②



現代詩文書基礎基本講座(8)

小竹石雲

【臨書から現代詩文書への展開】

初歩の人への入門の方法としては、倣書から始めるのがよいと思う。しかしこの段階から、古典（ここでは鄭羲下碑）のもつ空気感を取り込んだ学書も大切である。

① 鄭羲下碑風のひらがなの表現方法

一字一字の練習ではなく「かきくけこ」全体を一括りにして、鄭羲下碑の風景を捉えて書いた。大空を舞う風のような大らかさを表現した。各々の文字の表情も硬くならないように心がけた。緩急と線の指向性で動きも感じられるようになる。

②

鄭羲下碑風の現代詩文書 雄渾さに力点をおいてこの語句を書いてみた。ばたばたした動きにならないように、腰を十分おろしてじっくりじっくり進めてみた。そこには古代人のもつ、ひた向きなエネルギーを忘れてはならない。また十分空気を内に孕んだ抱容力と幽玄さも感じられる。一步進んで淡墨表現にして深さも追求できる。神経質ならず、大らかさがこの碑の魅力である。現代詩文書表現では詩句の選定いかんではいろいろと幅広く表現できる。皆様も楽しんで幅広く挑戦してほしい。

筆者不明

①敦煌漢簡 後漢・元和四年（87）

出
庫
二
斛

元和四年八月五日

（解説）20世紀の初め、敦煌・居延・樓蘭・武威など中国の西域地方から、大量の木簡が発見された。主にイギリスのオーレル・スタイン、スウェーデンのスウェン・ヘディン、フランスのポール・ペリオ等の発掘調査によるものである。中でもスタインの収集した木簡類には、それまで碑刻でしか見

大英図書館蔵（拡大）

ることのできなかつた当時の隸書のみずみずしい肉筆が、数多く含まれていた。左掲の①敦煌漢簡は、敦煌紀年簡のうち八分書の最後を飾る作品である。②敦煌漢簡は、古隸の中に行草意が見られ、敦煌最古の紀年木簡である。

（編集部）

②敦煌漢簡

前漢・天漢三年（前98）

僦人張季元付平望
西部候長憲

出庫二斛。元和四年八月五日。／僦人張季元付平望西部候長憲。

大英図書館蔵（拡大）



天漢三年十月。縣長遂除居平望。……／□□□。其十石五斗粟存任君所。天漢三〔年〕…
□遂。爲君已入大石四石一斗少。大…

※落款を必ず入れる。署名、もしくは〇〇臨（押印のみ可）

漢字研究部臨書課題（半紙普通判・縦使用）上記掲載部分より何文字臨書してもよい。

※ 特別研究部臨書課題（A. 大作の部—毎日展審査会員・会員サイズ以内、2×6尺・全紙も可）
(B. 小品の部—半切以上半切以内・全紙1/6(約68×68cm)以内も可(縦横自由))

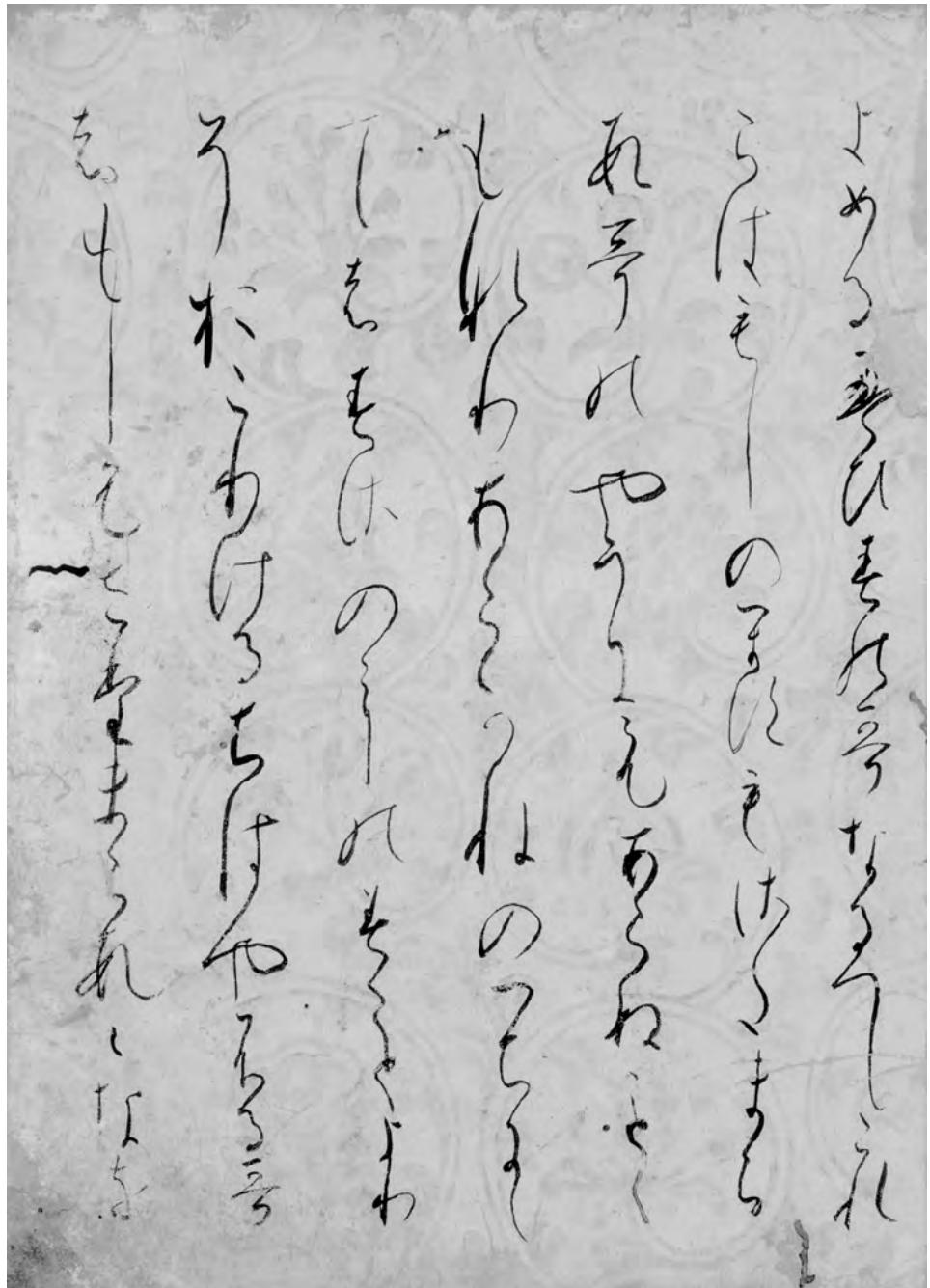
→ ご注意// 今月の特別研究部は当ページ上記掲載の①・②「敦煌漢簡」の中から臨書箇所を選び、出品して下さい。

かな研究部臨書課題
特別研究部臨書課題

かな研究部臨書課題

(半紙普通判(料紙可)・縦長に使用)
左記の古筆の掲載部分より歌一首以上を書く。(全幅も可)

B.A. 大作の部(毎日展審査員会員サイズ以内、2×6尺・全紙也可)
小品の部(半切以上、半切以内、金紙約68×68巴以内も可)(縦横自由)
△当該古筆の左記掲載部分以外も可。



(東京国立博物館蔵)

(掲載図版・85%に縮小)

よめるえびすの哥なるべし。これ
らは、もじのかずもさだまら
す、哥のやうにもあらぬこと
もなり。あらがねのつちにし
ては、すさのをのみことより
ぞ、おこりける。ちはやぶる哥
はもじもさだまらず、なを

〈解説〉元永本古今和歌集は、「古今和歌集」20巻を上下一帖の冊子に書写したもので、完本として現存最古の遺品である。上巻に仮名序と卷一から卷一〇まで、下巻に卷一一から卷二〇までを書写している。(図版は仮名序部分)

美しい料紙に、リズミカルで流麗な書風で書写され、下巻ではさまざまな散らしの妙も見せている。「元永本」の名称の由来は、上巻の末尾に本文と同様で「元永三年七月廿四日」の奥書きがあることによる。もと加賀国前田家伝來のものが、明治に入り三井家に譲渡された。明治45年に三井高広氏の遺志によって東京国立博物館に寄贈され、今日に至っている。国宝。

(編集部)

*古筆は原寸(以上も可)で臨書しま
しょう。

※落款を必ず入れる。
○○臨(押印のみも可)

辻元大雲

萬物光輝
(古樂府)

半紙普通判

新年を迎える語句として選びました。陽春を迎えたみな光り輝く、おめでたい吉語です。

今日は草書で、唐の懷素・千金

帖の雰囲気を感じつつ、穏やかな

中に滋味ある表現を試みました。

草書は皆様のご承知の通り簡略

な字形で、少しの変化で誤字になつ

たり、別の字にもなったりします。

基本的な古典、王羲之の十七帖、孫過庭の書譜などをしっかりと学習して、草書の基礎を身に付けることが肝要です。

筆は羊毫の長峰筆を使用しました。



萬物光輝 よみ (萬物光輝)

書体=自由

習い方解説 四

名 越 蒼 竹

(漢書)

凌雲之志
(凌雲之志)

俗塵を離れる望み。

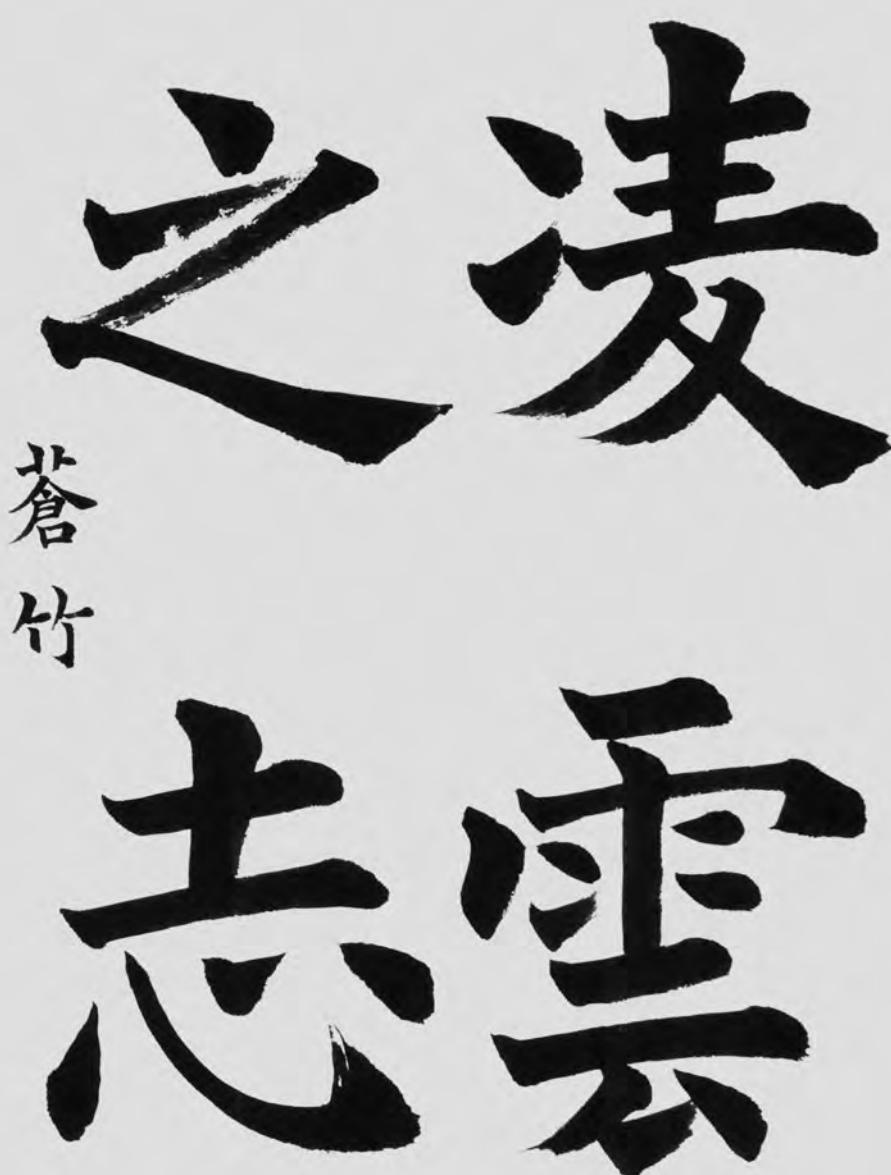
初唐三大家の中では最も後輩だった褚遂良は虞世南・歐陽詢の二人が完成させてしまった感のある楷書に新味を加えました。それは楷書以外の書体の筆法を取り入れた

点にあります。例えば隸書の波法や行書の筆路を見せる点です。線

質は異なりますが、中唐の顏真卿に影響を与えていました。さて今回意識したのは褚遂良の若書きと言われる孟法師碑です。字形はあまり強くなく、ハネ・ハライが太く短いため、がっちりとしたイメージです。私にとっては三大家の中で最も取つきやすい書風です。

凌雲之志 よみ(りょううんのし)

書体=楷書



かな規定 初段以上【二月十五日締めきり】用紙 半紙普通判(料紙可)

奥田瑞舟選書

習い方解説(一)

奥田瑞舟

里とほき八声の鳥のはつこゑ
花の香おくる春の山かぜ
(藤原定家)

今回は、一字の中の強弱と連綿を意識しました。

散らしの姿よりも大切なものは、線に力があること。力のある線とは筆先の深く深い込む直線です。姿形に主力をかけると線が浮いたり側筆の軽い線になります。転折で突き立てた生きた魅力的な線で、潤滑まで上手く表現できたら素晴らしい作になると思います。

連綿を強調と速さが加わると、よこ画が段々退化し省略された姿になります。あまり奇抜な字形も紙面全体で調和しないことがあります。連綿して省略され更に連綿して流れの中で形づけられるものが良いと思います。この流れの中には、かなの中字母を理解しておくことが大切です。

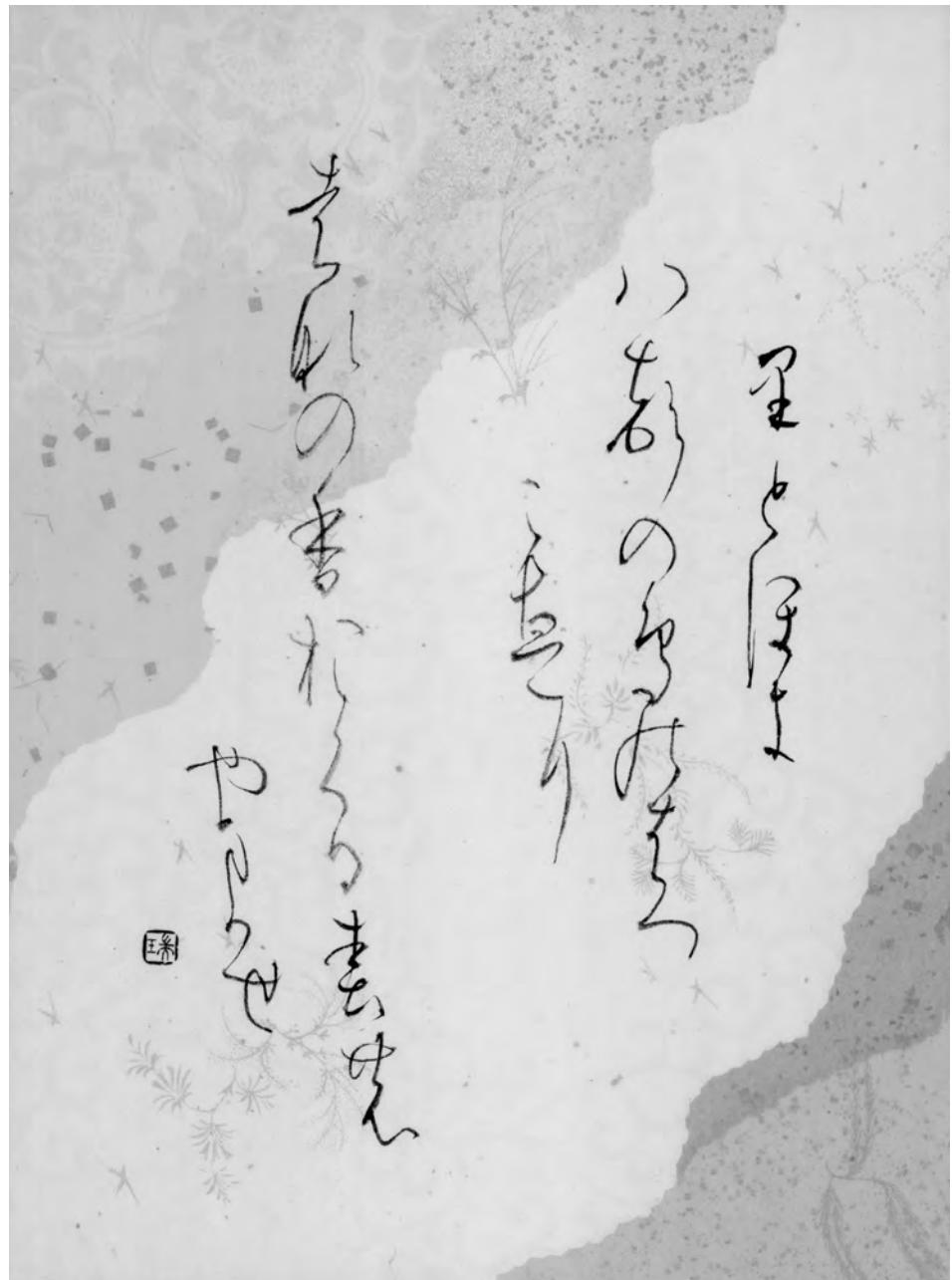
五

*料紙は半紙版(33.0×24.5cm)
を使用しましょう。

創作

よみ方 里とほき(支)八声(聲)の鳥(の能)は(者)つこゑ(恵)に(耳)

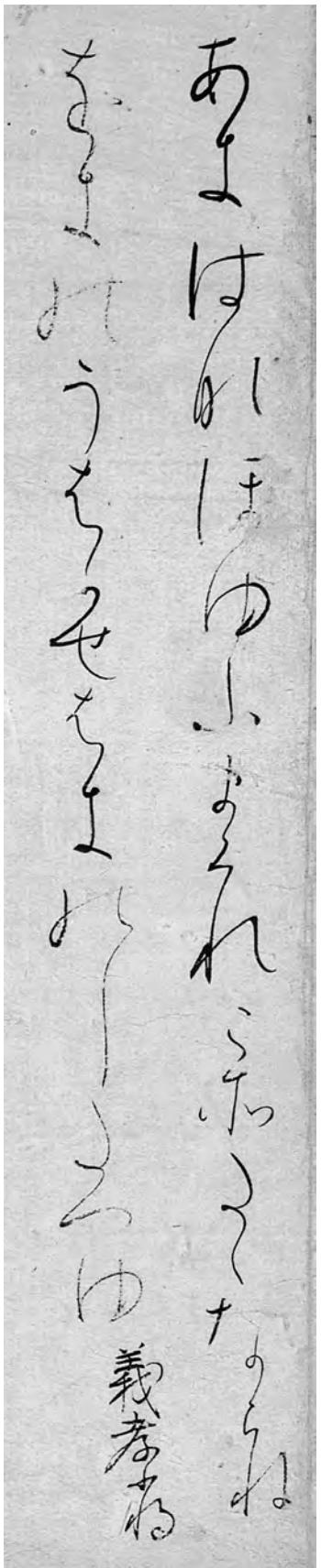
花(者那)の香お(於)く(久)る春の(農)山(や万)か(可)ぜ



かな規定 秀級以下【二月十五日締めきり】用紙 半紙タテ $\frac{1}{2}$ (料紙可) (たて32センチ・よこ12センチ)

掲載写真の和歌を臨書する。または部分(2字以上の連綿または単体を含む)を臨書する。

粘葉本和漢朗詠集
(掲載写真拡大120%)



よみ方 あき(文)はな(那)ほゆふまぐく(久)れこそ(所)た(多)だ(し)ならね

をぎ(文)の(能)うは(者)か(可)ぜは(者)き(支)の(能)した(多)つゆ 義孝少将

習い方解説 (一)

松村くに子

山ふかみなほかけ塞し春の月
空かきくもり雪はふりつつ
(嘉陽門院越前「新古今和歌集」)

かな条幅規定【二月十五日締めきり】用紙 小画仙紙半切(料紙可)

松村くに子選書



基本的な2行書きですが、まず
2行間の響き合いが大切です。

響き合うということは、字の大
小だけでなく複雑な字には簡潔な
字、横張りには縦長の字というよ
うに、違う形式の字が隣同士にな
ることで生まれます。墨色も然り
です。その工夫によってお互いの
行は、引き立て合います。

創作

*タテ形式に限る

よみ方 山ふ(婦)か(可)み(三)な(那)ほ(本)か(可)げ(希)寒(沙む)し春の
月(都支)空(楚ら)かき(幾)く(久)もり雪は(八)ふりつつ(ハ)

漢字条幅規定 初段以上【二月十五日締めきり】用紙 小画仙紙半切

千葉蒼玄選書

習い方解説 四

千葉蒼玄



慶雲五彩生
(慶雲五彩を生ず)
（禅語）
・令和三年歳在辛丑孟春朔日
文曰 慶雲五彩生

書体＝自由
※タテ形式に限る

※「慶雲五彩生」のみも可
※落款は必ず入れる

漢字条幅規定 秀級以下【二月十五日締めきり】用紙 小画仙紙半切

大隅晃弘選書

習い方解説 四

大隅晃弘



冷硯欲書先自凍孤
(冷硯書せんと欲すれば先づ自づから凍り、
孤燈何事ぞ独り花を成す。)

書体＝自由

弾力の強い兼毫筆を用いて、王羲之の蘭亭序をイメージしました。
一定の習作経験を積み、出品書展での評価を過度に意識すると、線質を無理にいじったり造形を歪めたりした過剰表現に陥ることがあります。

確実な線質で、規範的な骨格にてはなりません。

お正月、めでたい句で床の間にでも飾りたいものである。

右に令和三年歳在辛丑孟春朔日（かのとうし 春の初めの月の1日）左に文曰と祝文をいたた。

慶雲とはめでたい時に現れる瑞兆。良い事が起る前兆は鮮やかな五色に彩られるという。五彩とは華美な「青・黄・赤・白・黒」の五色の事。

川 島 舟 錦

質問3

「肩に力が入っていませんか？上手に書こうとしていませんか？肩の力を抜くことが、ひとつ。ふたつめは、ペンの角度です。筆、鉛筆、ペンの持ち方は、全部違います。特に、持つ角度が大事です。」

吉田茂は首相時代、地元から
陳情に訪れた有力者に対し
「私は、日本国の代表であって
高知県の利益の代表者ではない」
と一蹴した話は有名です。

舟錦書



書体＝自由

吉田茂は首相時代、地元から
陳情に訪れた有力者に対し
「私は、日本国の代表であって
高知県の利益の代表者ではない」
と一蹴した話は有名です。

◇用紙 市販ハガキまたは私製のハガキ大(14.8×10cm)の白紙を使用
◇黒インクのペンを使用（ボールペン・フェルトペン可）

ご注意!! 用紙サイズ(14.8×10cm)を守って下さい。

新 年 元 旦 初 春 新しき年を

新 年 元 旦 初 春 新しき年を

新年明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます

大 隅 晃 弘

(楷書)新年 元旦 初春 新しき年を
(楷書)新年明けましておめでとうございます (行書)新年 元旦 初春 新しき年を
(行書)新年明けましておめでとうございます 基本用語

「新年」新しい年。「元旦」一年の最初の日。「元朝」
旦は一月一日の朝のこと。元朝。

- ◇小筆・筆ペン・サインペンなどを使用 署名は各自の姓号を (掲載手本90%に縮小)
◇用紙は普通版半紙横½(24.5×16.5cm) B5版コピー用紙(26.0×18.1cm)も可
◇所定の出品券を作品の右下に貼る <審査会員を含む誰でも出品可>

今月の

ホープ作品

各部総評

NO. 715

かな部 師範 小峰美加子

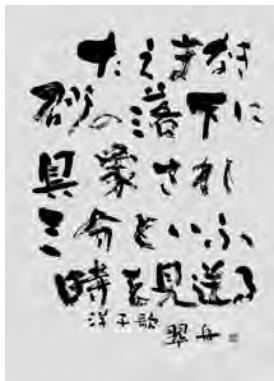
細太、左右への揺れの独自性が高い。熟練の底力に魅了され満足。

◎かな部総評 概ね誤字なく良い出来であった。俳句は字粒の認識を間違えなければ表現の可能性は増す。墨量过多は注意！（明子評）



かな条幅部 準師 森田 龍博

細部まで手本をよく解釈し、小振りながら穏やかなタッチでまとめました。滑らかなリズムに期待。◎かな条幅部総評 難しい課題のため、字の大小のバランスや、神奈備の収め方など、調和を欠く作品が多くあり残念。（洋子評）

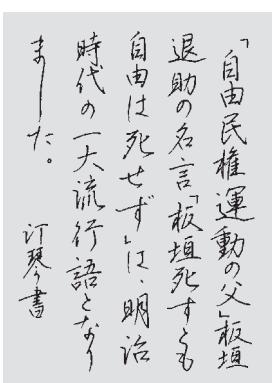


漢字条幅部 師範 井ノ口春峰

筆勢があり、線が冴え、爽快感がある。余白も美しく、品性の高い行草書で技量の高さが窺える。



◎漢字条幅部総評 上級は参考手本に倣い、迫力溢れる作が多見し気迫に圧倒された。また、様々な書風の作品も楽しめた。（萬城評）



「自由民権運動の父」板垣退助の名言「板垣死すとも自由は死せず」は、明治時代的一大流行語とな

った。 汀琴書

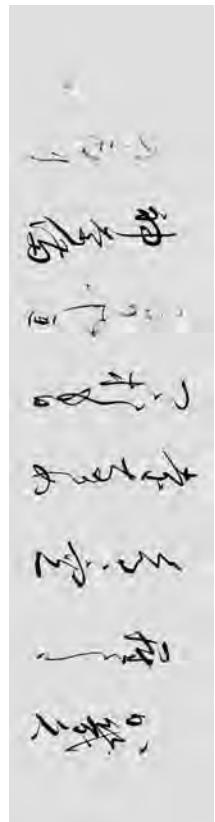


ペン字部 師範 竹清 汀琴

端正な字形で躍動感のある快作。

◎ペン字部総評 上位には完成度の高い作品が多かった。下位は、余白、落款への配慮不足の作品もあり、一考を要す。（仙草評）

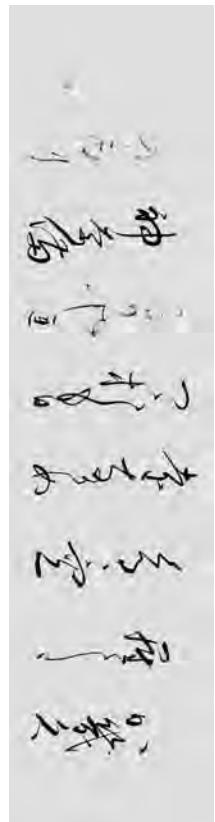
漢字部 師範 田中 岳舟
大きく暢びやかな運筆が、紙面に躍动感を与え、広がりある作。
◎漢字部総評 上級者概ねバランスよくまとまった作多し。意欲的な取り組みを期待。下級楷書4文字のバランスに苦労か。（大雲評）
更なる成長を期待する。



前衛書部 特選 山崎 恵

重量感があり、線の充実、堂々の構成、運筆の息づかいに感銘しました。

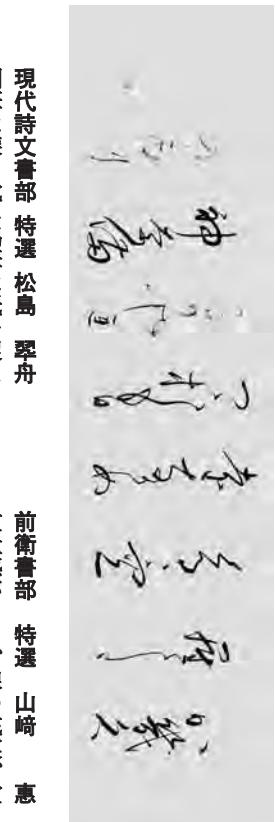
◎前衛書部総評 前衛書の用筆を習得しながら、線、形、墨色、心に響く作品に期待する。（仙岳評）



現代詩文書部 特選 松島 翠舟

潤筆は深く沈み渴筆は紙を捉え粘りのある線を出している。構成は単純なれど線に魅了された。

◎現代詩文書部総評 今回、誤字脱字が多く写真版評の書込中に何度も入替え、残念。（素雪評）



漢字部 師範 田中 岳舟
大きめの筆幅で、紙面に躍動感を与え、広がりある作。
◎漢字部総評 上級者概ねバランスよくまとめた作多し。意欲的な取り組みを期待。下級楷書4文字のバランスに苦労か。（大雲評）
更なる成長を期待する。

今月の

特別研究部優秀作品(特選)

選評 下谷洋子 三浦鄭街 田村鄭雲 倉林紅瑤

小品の部

臨書 (白珠) 相内珠莉 「十五番歌合」



相內珠莉臨

35×108cm

◆側筆による筆の開閉と揺らぎだ線の把握が難しい古筆だが、ゆつたりと大らかによく捉えて安定作。（洋子評）

(洋子評)

◆側筆による筆の開閉と揺らぎだ



尾形紅霞書

35×67.5cm

尾形紅霞

現代詩文書
(玄穹社)

◆ 細面に切り込むような強勁な細綱が堅張感を醸し出している。渴筆も美しく、紙面明るく爽やか。

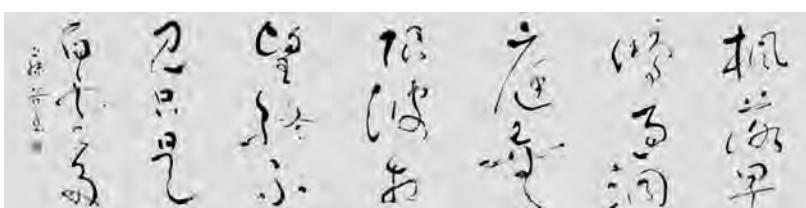
本田美雪書

134×35cm

前衛書

(蓮紅) 本田美雪「和予」

漢字 (もくせい) 森田藤谷 「瀟湘曲」



森田藤谷書

35×138cm

創作の部	(38点)
漢字	— 5点
かな	— 2点
現代	— 23点
篆刻	— 0点
前衛	— 8点
臨書の部	(17点)
漢字	— 14点
かな	— 3点

大作の部

前衛書 (大拙社)
阿部俊吾
「爽」



阿部俊吾書

◆上部からのおまじない
ルギッシュな筆致や潤滑の変化などを巧妙に盛り込み、表情豊かにまとめあげた。余白も美しい。(紅瑠評)

◆雪が天から降る光景を3つのブロックで表現。「しんしん」無音の世界が最終行で鐘が響く描写見事。



治田芳江書

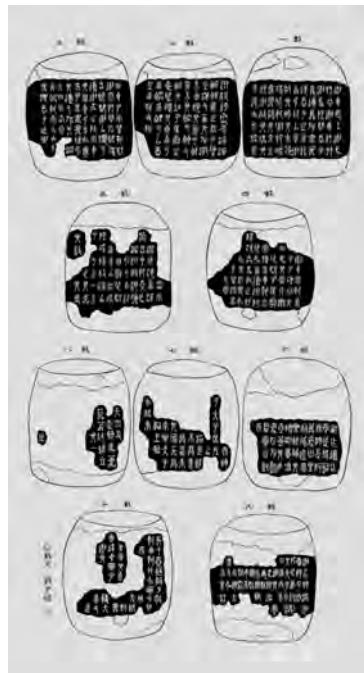
224×53cm

◆伸びのびと爽やかで、字組みも巧みだが、さらに筆の開閉と連続によって線に表情を盛り込みたい。

(洋子評)

かな
（如月）治田芳江「おのづから」

臨書 (紅瑤)
相澤敦子「石鼓文」



相澤敦子臨

135×70cm

部分拡大

現代詩文書 (八戸) 市川紫泉 「東山魁夷の詩より」



市川紫泉書

60×180cm

創作の部(34点)	
漢字	— 3点
かな	— 3点
現代	— 6点
前衛	— 22点
臨書の部(14点)	
漢字	— 11点
かな	— 3点



蒼宏紫覺幸節



京と 菜麻久 由
花 摘美香 子子美 美香



安藤美悠

◎漢字研究部總評

漢字研究部 特選 安藤美悠
石刻文字ならではの柔らかく温かみのある
線、字形から生ずる安定感。これらは平素の
修練から生まれた結果だと思います。また、「逆入平出」の用筆も見事に表現できている
秀作です。

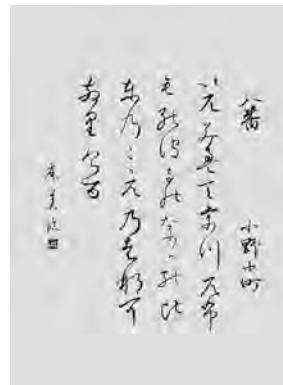
役立つものと考えます。今回拝見した中で、初めて手掛けたであろうと思われる作品も少なくありませんでした。しかし、あえて挑戦された姿勢を高く評価したいと思います。ただで終わらずに、折を見て学習していただきたいと考えます。字形については横画は水平で縦長、用筆は逆入平出である点に注意を払って学習して下さい。

26

かな研究部
(十五番歌合)

選評 佐 藤 希 雲

今月のホープ作品



岡田麻美

◎かな研究部総評

直線美と曲線美を上手に調和させ、表現しています。字形、流れ、墨色、申し分ありません。落款は本文と合うように工夫し、もう少し下に書きたい。

◎かな研究部総評

草仮名はひとつひとつ字母を調べ、字書で確認する必要があります。不要な字画を書いたり、必要な字画を見落としたり、が目につきました。

良莠雅

奎道伯

惠永軒

和千恵子

泉悠久

心子泉

子簣牛

〔特別昇段級試験臨書課題〕

※下記の写真掲載部分の中から規定の文字数を
臨書する。掲載以外は違反となります。



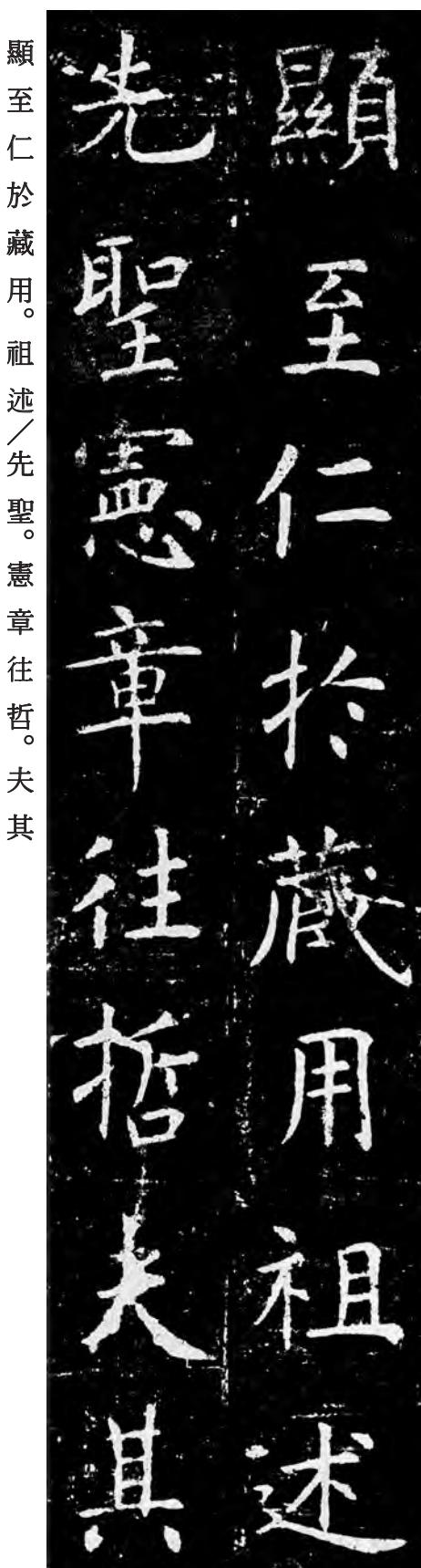
蘇慈墓誌銘

（楷書）

漢字部

第二種

半紙に写真掲載の中から4文字を臨書



授持節車騎大將軍儀 / 同三司大都督領胥附 / 禁兵台司之儀功高東

しきはわみ、かきのすにまち下
 るはゆのうやまと、けふ、いづ
 ひ、つゝと、よ、いふまほのう
 さ、まく、ちる、まのよ、うもす

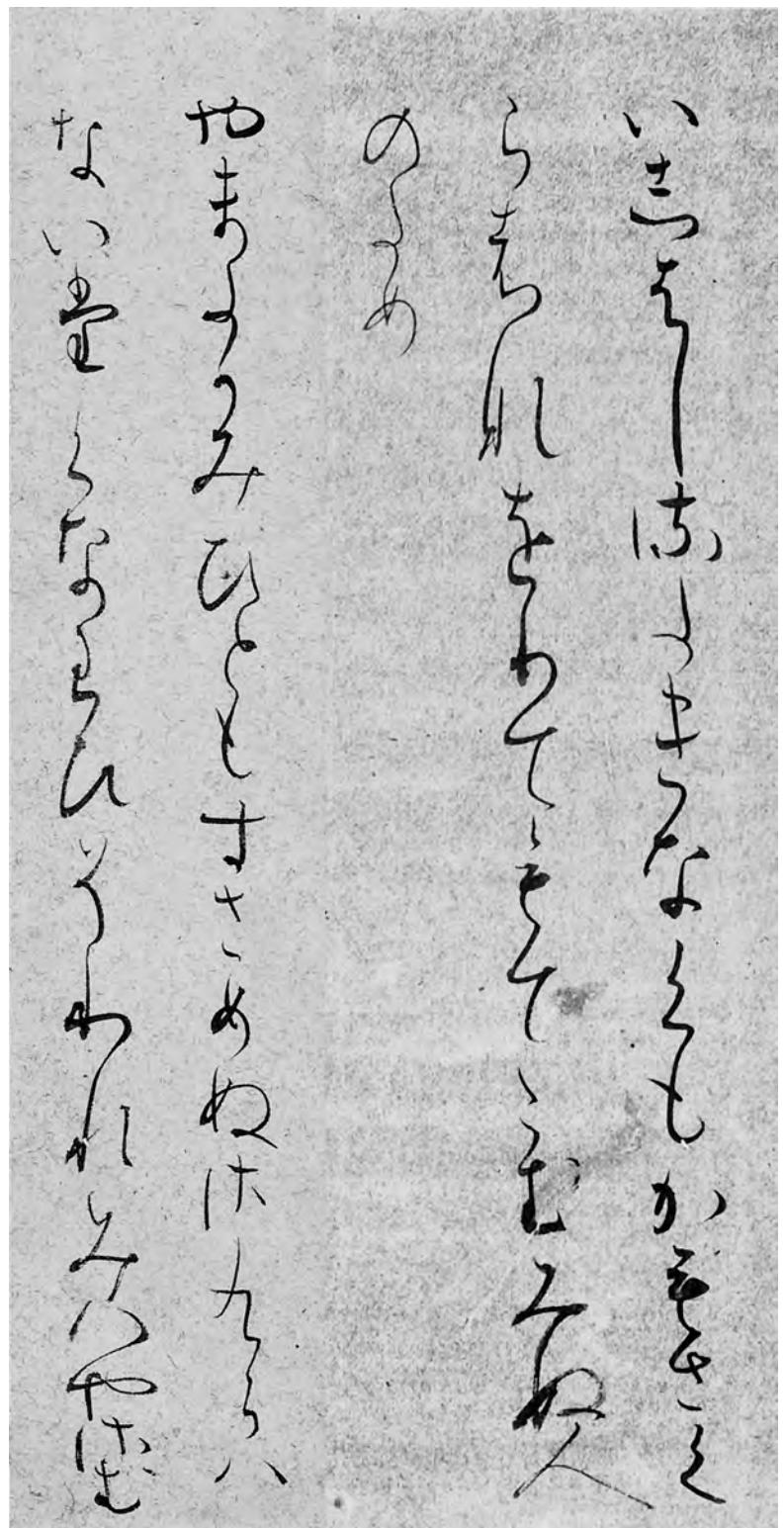
つくばねのこのもかのもにたちそよるはるのみやまのかげをこひつ
 ひかりなきたに、はるもよそなればさきてとくちるものおもひもなし
徒能毛可多所
可多尔毛曾者
毛曾者

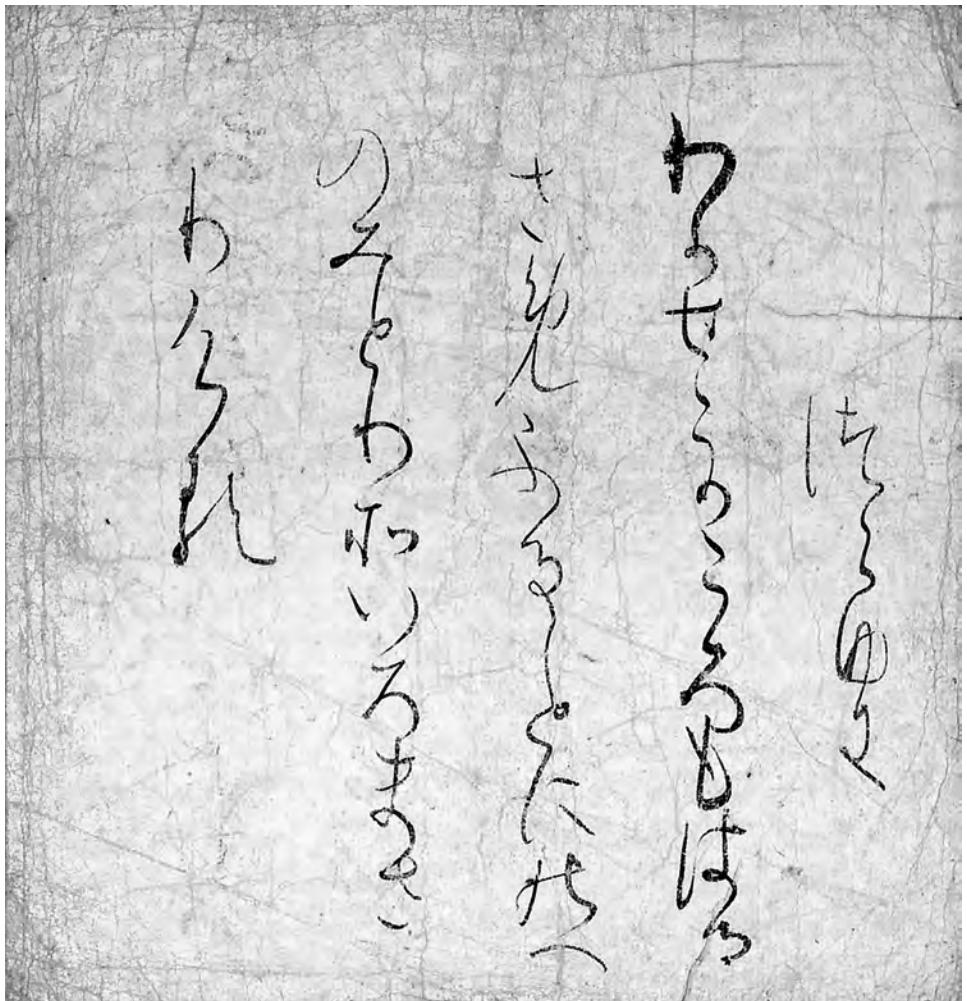
あひますやよそりのをひくあらの
 たづね、いざとひそむ、もはむ今
 むほ、ととまむ、てすくあらよ今
 うそそあよせ、かく（と）ふよそ 肥恒

あしひき支能のやまどりのをのしだりをのながくしよをひとりかもねむ人丸
 むつごともまだつきなくにあけにけりいづらはあきのながしといふよは利可肥恒

<原寸大>

いしばしるたきなくもがもさく／らばなをりてもてこむみぬ人／のため
 やまたかみひとすさめぬさくらば／ないたくなわびそわれみはやさむ





△原寸大△

徒
支
ゆき

わがせこがころもはる
可
可

免能ベのことにふるふめさ

のみどりぞいろまた
利所

りける 利介類

名前のかき方

8

- ◎どの部も落款を入れる。
 - ・創作は○○書と書く。
(かな部・かな条幅部は印のみも可)
 - ・臨書は○○臨と書く。
(かな部・かな条幅部は印のみも可)

● 料紙可
たて 12.8 センチ × よこ 12.5 センチ 原寸大
の枠を半紙にとり、その中に書くこと

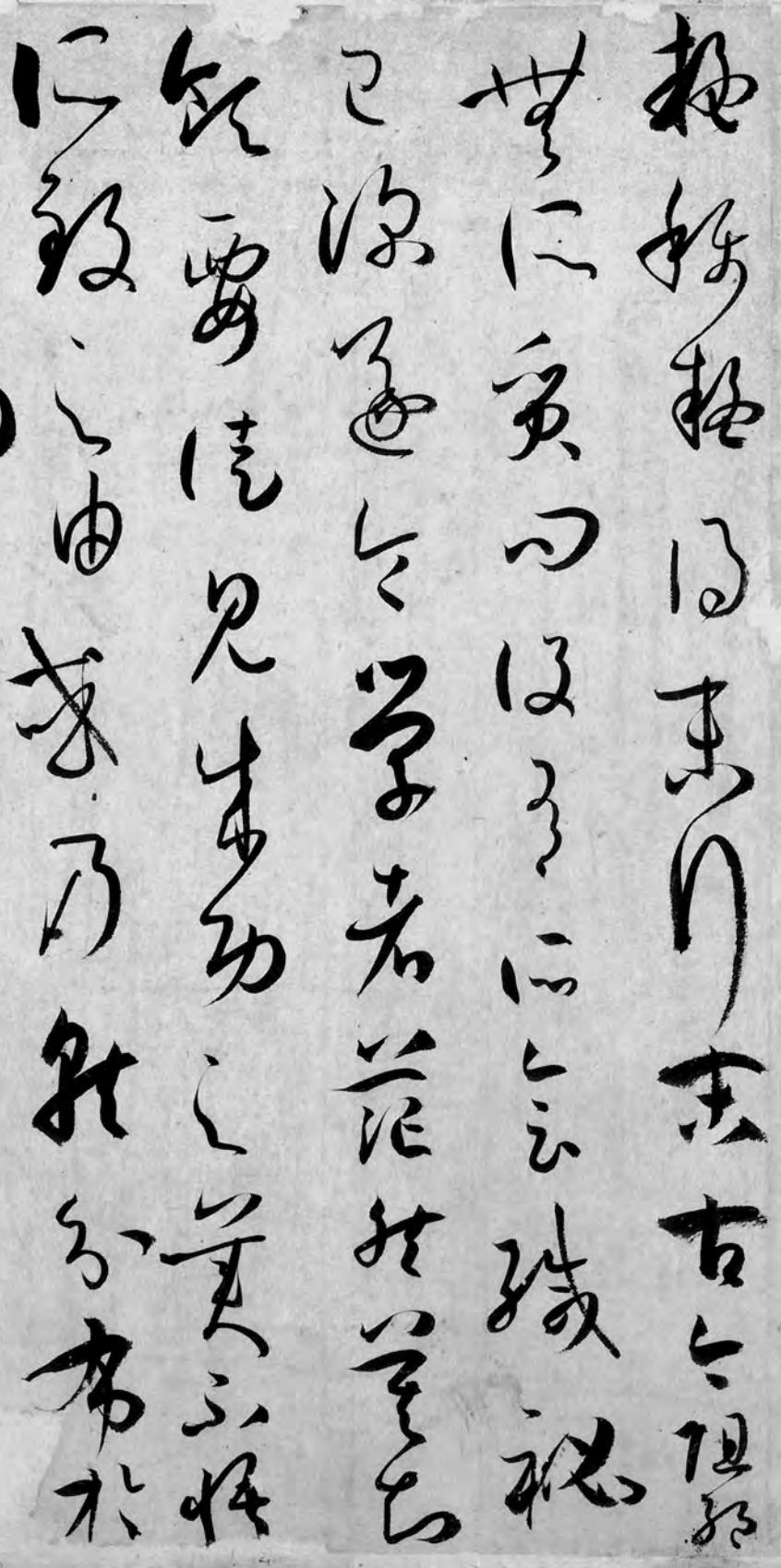
- 落款は枠外に書く。○○臨印のみも可（枠外に押印）
- 料紙を裁断して貼付してもよい。



開府儀同三司隨州
刺史長樂恭侯。橫劍
桂桓威重冠軍。折瑞
蕃條聲高勃海。公量

書曰尔惟弗矜天下莫与之争功尔惟不矜
天下莫与之爭能以齊桓公之盛業片
言勤王則九合諸侯一匡天下葵丘之會
微有振矜而叛者九國故曰行百里

書曰。爾唯弗矜。天下莫與汝爭功。爾唯不伐。／天下莫與汝爭能。以齊桓公之盛業。片
言勤王。則九合諸侯。一匡天下。葵丘之會。／微有振矜。而叛者九國。故曰。行百里。



疑稱疑。得末行末。古今阻絕。／無所質問。設有所會。緘祕。已深。遂令學者茫然莫知。／領要。徒見成功之美。不悟。／所致之由。或乃就分布於

●篆刻

【二月十五日締め切り】

〈出品規定〉審査会員を含む、誰

でも出品可。

①摹刻

(ア)課題による語句

(イ)原印自由

(出品の際、原印のコピー添付)

②創作

語句自由

〈原印コピー〉



吳昌碩 清

「貢山」

- 印面の大きさは3.4cm(八分角)以内とし朱文、白文自由。
- 印箋は市販のもの、半紙横½の大きさに切ったものも可。
- 創作、摹刻とも応募は一人一点。

1月号 摹刻課題

<特選>



「山水方慈」

◎篆刻部総評

可成りの経験者でしょ。線の表出の仕方、刀の扱いも見事。

摹刻作品に大変、確りとした作品が多く、永い年月、研鑽を積まれたと思われる方が応募されて居ります。その手腕、見事です。

確りとした四文字構成、更に運刀の切れの佳さ、出書中の白眉。

(大峰評)

摹刻

175号篆刻優秀作品

選評 後藤大峰

創作



「直截簡明」

送 料

一か月の購読部数が

1部～9部までの1回の郵送料

1部	79円
2部	95円
3部	103円
4部	119円
5部	135円
6部	151円
7部	167円
8部	183円
9部	199円

10部以上は
送料免除

お問い合わせ、ご連絡は、
月曜日～金曜日九時～十七時の間に
お願いします。(土・日・祝日は休み)

101-0031

東京都千代田区
東神田一一六一七

東神田プラザビル三階

◎郵便物・清書・送金・一般事務等は

電話(03)3862-1954
FAX(03)3862-1957

お問い合わせ、ご連絡は、
月曜日～金曜日九時～十七時の間に
お願いします。(土・日・祝日は休み)

◎出品方法

用紙の右側に押印し、左側に印影の記文を明記、並びに落款(氏名)を入れる。

(摹刻)	
秀作(50音順)	特選
遊雲 中川 研治	佳作(50音順)
大雲 水谷 大綱	高真 岩井 芳琴
久保村 南城 小沢 伊藤 敏男	やま 北日 後藤 小野寺 幸喜
生天 大雲 書游	やまと 成田 鶴淵 考市 孝雄
(吉原進)(選外なし)	佐藤 片岡 楠沼 雅希
大雲 柿沼	橋本 清麗 亞希
佐藤 天峰	能喜 幸喜
(創作)	
秀作(50音順)	特選
大雲 佐藤 希雲	佐藤 希雲
佐藤 喜雲	佐藤 希雲
佐藤 觉山	佐藤 希雲
坂本 義則	佐藤 希雲
(篆刻)	
秀作(50音順)	特選
遊雲 炎佳	佐藤 希雲
富見 阿部	佐藤 希雲
声香 文庵	佐藤 希雲
宮内 雅慈	佐藤 希雲
成子 華炎	佐藤 希雲

101-0031
電話(03)3862-1954
FAX(03)3862-1957
振替 00150-4115055
[ホームページ](http://www.lms.co.jp/shogei/)

定価

一部

七五〇円

令和二年十二月二十五日印刷
令和三年一月一日発行

発行人

辻元洋一(大雲)

編集兼

辻元洋一(大雲)

印 刷

小沢写真印刷株式会社

アーティスト

リックス

発行所

株式会社

アーティスト

リンクス

アーティスト

リックス

アーティスト

リンクス

アーティスト

リンクス

アーティスト

リンクス